

## 平成30年度第2回熊谷市男女共同参画審議会概要

I 日 時 平成30年8月30日（木）午後2時から午後3時35分まで

II 場 所 男女共同参画推進センター「ハートピア」会議室

### III 次 第

1 開会

2 挨拶

3 議題

(1) くまがや男女共同参画推進プラン年次報告について

(2) 次期「熊谷市男女共同参画推進計画」について

(3) その他

4 閉会

### IV 委 員（敬称略）

原田壽子、加藤道子、山内 恵、須長民子、杉田茂実、高木久美子、  
鈴木あえか、河井好一、藤野佳子、清水扶美江、秋元留美子、  
加藤英明、濱田由範、川村達也

（欠席）澤田真弘

（委員15名）

事務局 市民部長、男女共同参画室長、男女共同参画室職員

### V 会議の概要

司会：男女共同参画室長

1 開会

欠席者の報告

（団体役員変更に伴う新委員）鈴木委員紹介

2 挨拶

市民部長

財務省のセクハラ、東京医科大入試の問題など表出し、DVによる殺人事件など、男女共同参画社会とは遠い現実がある。推進プラン報告とともに、次期推進計画について、御審議いただき、今後とも、熊谷市の男女共同参画の推進のため、御協力をお願いしたい。

原田会長

男女共同参画について、過去の概念にとらわれず、新しい考えで物事を進めていきたい。取組当初は働く女性を主体とした内容から、男性や子どもを含め、広く捉えた中で、男女共同参画の推進を図っている。積極的な御意見をお願いしたい。

#### 4 議題

審議会規則第3条第1項の規定により、原田会長が進行。

##### (1) くまがや男女共同参画推進プラン年次報告について

(事務局)

各課が所管する関連事業について、平成29年度実績を点検・評価した結果と今後の取組の方向性、また、各事業について、男女共同参画の視点への配慮を自己評価する「チェック項目」の確認を取りまとめた報告書により説明。今後も男女共同参画を意識した事業実施に努めていく旨、説明。

(意見、質問等)

(委員)

男女共同参画に関連して、LGBTについて、取り上げられることが多くなっている。パートナーシップ制度を取り入れる自治体もあり、直近では、神奈川県内の男女共同参画課のLGBTの方への対応が問題となり報道されている。

市の男女共同参画講座配信事業においても実施しており、正しい知識を持つことが必要である。熊谷市のホームページでは、性的マイノリティとして人権政策課で取り上げられている。差別してはいけないということだけでなく、なぜいけないのかを理解しなければならない。

推進プランの中で男女共同参画室の関わりは、どのように考えているか。

(事務局)

男女共同参画の次期推進計画において、性的マイノリティへの理解、支援に取り組んでいきたいと考えている。

(委員)

相当数の事業評価をまとめるのは、たいへんなことである。また、所管課の実施事業のチェックについての考え方は、調査票への記入のみでは捉えにくい。具体的な内容が読みにくい面があり、重点施策の中で絞って評価していく方法を検討してもよいと考える。

(委員)

一般論として、評価、チェックは難しい。点検評価の内容について、外部の者が少し説明を受けただけでは判断が難しい。障害者雇用の問題もあり、報告の内容が外からわかりやすいように、何らかの工夫をしていただきたい。

(委員)

自身が市の委員の職に就いているものが、どう評価されているのか、わかりにくい。相手に伝える項目を意識して、ポイントを絞っての評価がよいと思う。

(委員)

男女共同参画の関連事業実施に当たって「チェック項目」について意識を持つよう、あらかじめ伝えておくなどの対応を考えていただきたい。また、調査の方向性として対象を重点的に絞っていくことで検討いただきたい。

報告承認。

(2) 次期「熊谷市男女共同参画推進計画」について

(事務局)

計画策定の趣旨、アンケート調査結果、基本的な考え方、計画期間（平成31年度から平成40年度）、基本理念、基本目標等、説明。

変更点の中で、自殺対策、防災対策の重点化について、説明。計画の体系、LGBT等の言葉の取扱いの確認、主要課題のとりまとめ（12項目を10項目に変更）に対する意見のお願い。

(委員)

計画体系資料は、基本目標からとなっているが、基本理念がこの上に表示されているのが望ましい。主要課題を現行計画の12から10にまとめている。LGBT等の表示、支援の計画位置付けの確認をしたい。主要課題8の「(3)国際社会に対する理解」と「(4)貧困、高齢、障害等により困難を抱えた女性が安心して暮らせる環境の整備」の順序は替えた方がよいのではないかと。他の委員さんの意見を伺いたい。

(委員)

困難を抱えた女性等への支援、まちづくり分野での推進より、第一に人権尊重の視点で捉えるべき課題である。「性的マイノリティ」とするよりは、具体的施策の「性の尊重や心身の健康についての理解」に「性の多様性」を加えるのがよいと考える。

(委員)

「男女共同参画の視点に立った自殺対策の推進」とあるが、「自死」とすべきでは。また、「対策」の推進を「防止」の推進とすべきか。

(事務局)

市の自殺対策の策定を他の部署で計画している。防止については、対策の中で「自殺防止に向けた普及啓発」とした項目を挙げている。今回の推進計画では、国の法律、県の基本計画に沿った形で盛り込んでいる。意見をいただき、あらためて検討していきたい。

(委員)

養護児童施設に2歳児が増えているという話を聞く。中学生、高校生の出産により、施設に預けられる子が多くなっている。性に対する意識が軽くなり、生きていく強さ、知恵が養われないまま、人生を過ごしている感がある。どのようにケアしていけばよいのか。

(委員)

性の尊重、性教育については、助産師会の協力をいただき、中学生などを対象に配信講座事業を行っている。今後も取り組んでいただきたい。

(委員)

基本目標Ⅲ中に「配偶者等からの暴力の根絶」とある。配偶者だけでなく、若年層、高校生などのデートDVの問題も出ている。「あらゆる暴力の根絶」とした方がよいと考える。

(事務局)

新たな意見等については、9月14日までに事務局へお願いしたい。頂いた意見を検討していきたい。

(6) その他

(事務局)

「情報紙ひまわり」の案内、「フォーラムくまがや」の出演者等概要説明。  
次回審議会10月29日開催予定案内。

#### 4 閉 会

\*傍聴人なし

問い合わせ先 (所管課)

男女共同参画室 電話048-599-0011